



ワークショップ 前

1. 育てたい生徒像

- 知識を統合しながら考え、自律的かつ吟味して行動できる市民となる。

2. 単元(本時)の授業の目標

- 「認知症とともに希望をもって生きていく」ということが当たり前である社会へと社会をアップデートするために、あなたはどう行動するか。

3. 授業の中での具体的な問い

【Extensions】

- ①なぜ、自分が強い負のイメージを抱いているのか？
- ②「認知症当事者」と呼ぶことにどのような意義があるか？

【Connections】

- ③認知症当事者の声(本)を踏まえて考えたことは？
- ④認知症とともに生きる「希望大使」の取組みが目指すことは？

【Ideas】

- 「認知症とともに生きる」という考え方。
- 「認知症当事者」という呼び方。
- 「旅のことはカード」を使って、自分の体験を話すことで意識された自分。

ワークショップ 後

1. 育てたい生徒像

- 知識を統合しながら考え、自律的かつ吟味して行動できる市民となる。

2. 単元(本時)の授業の目標

- 「認知症とともに希望をもって生きていく」ということが当たり前である社会へと社会をアップデートするために、あなたはどう行動するか。

3. 授業の中での具体的な問い

【Extensions】

- ②「認知症当事者」と呼ぶことにどのような意義があるか、評価してみよう。
- ④-1 「認知症希望大使」の任命により、どのような意義が社会に広がっていくことを目指そうとしているのだろうか？
- ③-1 認知症当事者の声(本)を踏まえて、あなたはどのように行動していくのか？

【Connections】

- ①-1 そもそも自分が認知症に対して強い負のイメージを持っているのはなぜか？
- ⑤なぜ「認知症希望大使」の任命が行われたのか？
- ④-2 なぜ「認知症希望大使」というネーミングが考えられたのか？

【Ideas】

- ⑥「認知症とともに生きる」という考え方を一言でいうと？
- ⑦「認知症当事者」という呼び方がもたらす効果は？
- ⑧「認知症希望大使」の取組みで、多くの人に届けることに、どのような思いがこめられているのか？
- ⑨「旅のことはカード」を使って、自分の体験を話すことを通して、あなたが意識したのはどんな自分だったか？

## ワークショップを通した気づき+NEXT STEP

### 1. 深めたい、解決したいと思っていたこと

- 教科書や資料集では、認知症が病気そのものの名前でないことが伝わる記述となっていないのか。また、認知症全体像のように書かれたものを見ることで、負の強いイメージを抱くことになるヒドウンカリキュラムとなっているのではないか。

### 2. 改善のポイント

- 新たな気づき**：①に挙げている「深めたい、解決したいと思っていたこと」は、問いつくりの視点で「深めたい」ではなく、取り上げた授業の中身をどのように深めたいかと考えていたか、ということであったということ。

ワークショップ分科会が、認知症の話題、奴隷解放の話題、聖書の話題と様々であるにも関わらず、「認知症の〇〇さん、でなく、〇〇さん。」「障害のある△△さん、ではなく、△△さん。」というように、「その人を見るということ。人間と対話するということ。」がテーマや教訓として共通している側面があるということに気づいたこと。

英語教材の文章の背景に、聖書のテーマが下敷きになっているというように、様々なものが深く結びついているということ。

- 改善のポイント**：提案していただいた「それぞれの問いを5W1Hでいうと、何にあたるのか？」について考え、その次に、まずはCの問いを「Why」、Eの問いを「How」にしてみたらどのような問いができるかを考えた。例えば、「認知症とともに生きる『希望大使』の取組みが目指すことは？」というの、「I」の問いである、ということに気づいたように、一つ一つ吟味していった。

### 3. 新たな問い～モヤモヤ感・先生方と共に考えたいこと

- Eの問いを「How」にするとどのようなものができるのか、生徒の様子や教科の特性を生かした問いにはどのようなものがあるか。

## Cの問いの具体化

	問いかけの意図 (活用できる疑問詞・接続詞)	評価の対象とする内容	具体的な問い
1	本当か、そもそも What	批判的な思考により、与えられた前提を問い直している。	•自分が認知症に対して強い負のイメージを持っているのは、そもそもなぜか？
2	そう言える理由・ 判断の根拠 Why	考えの根拠が示され、考えや論が論理的に関係づいている。	•なぜ「認知症当事者」と呼ぶことに意義があるだろうか？ •なぜ「認知症希望大使」というネーミングが考えられたのだろうか？
3	仮定と反事実的推測 If, If not	仮定によって、条件や状況を設定し推量の質を高めている。	•もし「希望大使」というネーミングでなければ、どのような言葉を使うと届けたい意図がよりよく届くだろうか？
4	～にもかかわらず Even though	異質な考えや矛盾等を取り入れることで、考察をより深めている。	•意識していない（できていない）にも関わらず、認知症に強い負のイメージを持っているのか？
5	～なら、 ～が言えるだろう If then, If not then	前提に基づいて、新たな解釈や意味を付加したり、その幅を広げたりしている。	•「認知症当事者の声」を踏まえるならば、どのようなことがいえるだろうか？
6	関係性の理解・発見 What ⇄ Why ⇄ How	関係性を理解したり、発見したりすることで、見いだした意味や内容を言語化している。	•「認知症当事者」が声をあげるようになったのは、いつごろ・どこの国の人からだろうか？
7	その他		